

佐々木 逆に岩手のお店の売上が出ていないというのもまたおもしろいですね。おもしろいってよくないですけど。社長がおっしゃっている通り、かかりたくないって気持ちがあるものすごく強く出ているんでしょうね。

高田 地方の方が、逆に強いんじゃないんですか。私は神奈川に住んでいるんですけど、すでに感染者が多くでているので、もう自分たちで気をつけるよりしょうがない。慣れてしまっているというか。出ていないところは慣れていないから、自分なりにたくない気持ちが余計にあるんじゃないですかね。

佐々木 岩手の話をすると、一人目の感染者が出るまでは、志村けんと岡江久美子さんの印象が強すぎて、かかったら死ぬみたいな恐怖感が蔓延しているような感じでした。そういう気持ちでいるもんですから、みんなやっぱりちょっと過敏ですよ。最初にかかれた方も随分こう、言葉を選ばないと社会的な制裁を受けてしまいましたね。でも、その方が勤めていた会社の社長さんがすごい方で。取引業者に迷惑かけるとまずいから、全部情報を公開したんですね。名前は公開しなかったんですけど、「弊社で感染者が出て、こういう対策します」と言って、出すぐホームページに公開したんですけど、そしたら岩手県外の方から「応援していたのになんだこのやろう」みたいな電話が100件くらいかかってきたらしくて。噂話ですが「かかったらどうのこうのじゃなくて、かかっちゃいけないものなんだ」とおっしゃられたというのが印象的でした。それが今の高田社長のお話をお伺いすると、ことさら岩手だからそういうことが起きてるなという感じはありますね。

高田 中に住んでいる方でないとわからないことだと思いますね。我々は離れているから、今の状況を岩手の人たちは自慢していいことなのと思うんですよ。

佐々木 ほんとですよ。おっしゃるとおりだと思います。

高田 自慢じゃなくて逆になっているんですよ。

佐々木 本当にこのコロナでリモートワークがどんどん始まっていたので、島根と2強くらいになってきた時に、しっかり県なり市なりが音頭として首都圏のIT系の若い方なんかにPRしたら、ひょっとしたら本社移転とか考える方々が出てくるんじゃないかなと思いましたね。

高田 逆にいい宣伝になったと思いますね。

佐々木 勝負かけておけばよかったのにつて。今ではもうタイミングとしては遅いですからね。

高田 ちょうど弊社でも7月の12、13日頃かな。岩手の花巻の渡り温泉で催事をやったんですよ。その時も青森とか近県から来てくださった方々がいましたね。その時は、岩手はまったく感染者がいらないから、安心して温泉にきてくださいっていうのを謳い文句にしていましたよ。

佐々木 コロナはとにかく微熱が出るのが最初の症状なので、熱が出た時はとにかく外出を控えるだけでも随分セーブできるって聞きました。

高田 それで後は自然に治っていくんですよ。そこを気をつければ。

佐々木 亡くなっている方もいるので、あんまり言い過ぎないようにしないといけないんですけど、岩手県人は本当に真面目すぎる。外に出るなって言われると本当に出ないですよ。

高田 たぶん、そうなんだろうね。

佐々木 いやー、それがしんどいですね。

高田 我々はちょうど3月、4月、5月が第一四半期でね。第一四半期はとんでもないことがあって、ディベロッパーが全部閉館しましたからね。営業できない店が半分くらいあったんですよ。めちゃくちゃでした。でも、この6月、7月、8月はおかげさまで昨年よりいいんですよ。特に東北はよくなりました。

佐々木 社長だからこそですね。さすが。

高田 いやいやいや。我社の社内は昨年何をやってたのか(笑)



クロスステラス盛岡2F「すずのき」。
いつも活気と笑顔溢れる店内。着物を通して広がる人の輪。ことさら昨今世界中から注目される和の文化を体現するなら、豊富な知識と伝統ある、すずのきで。

「すずのき」
Tel: 019-654-7891
<http://suzunoki-kimono.com/>